

コード	名称	区分	コード	名称		
事業名	1105 地域振興事務経費	会計	01	一般会計		
		款	02	総務費		
		項	01	総務管理費		
基本 施策	61 市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちをつくる	目	06	企画費		
		細目	122	地域振興経費		
行革大綱の重点事項番号		1	細々目	01	地域振興事務経費	
担当部課	コード	750100	担当者 氏名	岩野 孝裕	連絡先	52 - 1112 (内線)
	名称	青山支所 振興課				

**事務事業の概要 (Plan)**

対象(誰を、何を)	青山支所管内および周辺地域の住民	※対象件数
成果(どうする)	夏まつりの開催により、地域の活性化と地域づくりに繋がるとともに子どもから高齢者に至る世代間交流の場ができる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	・第25回青山夏まつり実行委員会(地域づくりに寄与する関係機関・団体が組織)に補助金として支出する。 ・地域づくりに寄与する関係機関・団体が実行委員会を組織し、事業を行う。	
社会情勢 の変化等	・商工会、JA伊賀南部、サークル連協から負担金が納入されており、市としても補助金として支出しているが、負担金の要素の大きい補助金支出となっている。	

**整備内容**(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

**運営体制**(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			代表者会議・実行委員会の会議開催	回	目標 5 実績 4	目標 5 実績 4

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				夏まつり来場者数	来場者数が地域振興の指標となる	人	目標 3100 実績 3000

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	2,666	5,047		173		173		
A の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金	2,500	4,900					
	地方債							
	その他							
一般財源	166	147	173	173				
事業投入人件費 (B)	0.4 人	2,880	0.1 人	720	0.1 人	720	0.1 人	
フルコスト(A)+(B)	5,546	5,767		893		893		

**事務事業の評価 (Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <b>80%以上100%未満</b> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 <b>無</b>	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	○
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
投入コストは他の支所管内の夏まつりに対する補助金額と比較し、そのバランスを考慮した上で判断されるべきものである。		

**昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況**

改善策	
昨年度の取組状況	【状況】 <b>計画のとおり進んでいる</b> 【詳細】 第25回実行委員会による夏まつりを実施し、地域活性化と市民の交流の場を提供できた。

**今後の方向性 (Action)**

担当課長氏名	藤原 四郎
事業の方向性	【方向性】 <b>現状維持</b> 【理由】 市民の夏まつりとして定着し、今後も一定の成果は期待できるものの、まつりの規模拡大や来場者の増については厳しいものがあり、現状維持としたい。
現時点における課題、その他	・地域社会の環境変化への対応 ・実行委員会の体制と夏まつりの内容のマンネリ化
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	第27回(平成23年度)から、地域の加盟組織や団体の企画による開催とし、行政は実行委員会に加盟せず夏まつりを支援する方向を目指す。